参考

RG'-0008

0330

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

ビルマに於ける日本陸軍々隊の状況及び殘留情報等について

昭二六、七、一

留守業務部

ビルマに於ける日本陸軍々隊の状況

一、ビルマに於ける日本軍隊の作戰行動

1、昭和十六年十二月中旬第十五軍は南方軍命令に基き逐次タイ國バンコックに進駐し昭和十七年一月より逐次テナセリウム地區に進攻し同年五月下旬迄に南北ビルマの勘定及中國雲南省の占領を終り防衛態勢に入れり

2、昭和十八年四月一日緬甸方面軍新設せられ第十五軍は主として北西正面を第二十八軍は南西正面を第五十六師團は雲南省正面を擔當し其の防衛を強化すると共に次期作戰を準備せり

3、昭和十八年末よりアキヤブ、フーコン（北部ビルマ）及雲南省方面の英印軍及中國軍の行動は逐次活潑となり昭和十九年三月より第十五軍を以て印度アッサム州インパールの攻略作戰を開始す

同年三月英印軍空挺部隊はバーモカーサ附近に降下し四月第三十三軍新設對空挺作戰及雲南フーコン正面の作戰を擔當す

4、昭和十九年七月二日第十五軍のインパール作戰中止せられ逐次ビルマ領内に退却し第三十三軍正面に在りても拉孟騰越及ミイトキーナ（密支那）の守備部隊逐次玉碎し同年末雲南省及北部ビルマを放

RG'-0008

0331

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

棄退却せり

5、昭和二十年初頭よりのイラワヂ河畔の會戰メイクテイラ附近の會戰共に戰況我に利あらず三月十五日マンダレー五月一日ラングーンは夫々英印軍の手中に入れり

又アキヤブ正面にて英印軍と交戰中の第二十八軍はマンダレー街道の放棄に依り完全に敵の包圍下に孤立するに至り七月下旬雨季を冒してマンダレー街道及シッタン河孟を突破しテナセリウム地區に轉進せり

6、昭和二十年七月第十五軍はタイ國に轉用せらる

7、緬甸戰史要圖1、2參照

8、之を要するにビルマに於ける日本軍隊の作戰行動はその全域に亘り進攻及退却の兩度の苛烈なる近代戰を實施せる特徵あり

RG'-0008

0332

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

緬甸戦史要圖 (1)

RG'-0008

0333

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

RG'-0008

0334

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

二、終戰時に於ける日本軍隊の狀況
１、終戰時に於ける緬甸方面軍の戰斗序列別紙第一の如し
２、終戰時に於ける緬甸方面軍兵力配置要圖別紙第二の如し
３、終戰時に於ける在緬兵力は約七万人なり

別紙第一

緬甸方面軍戰鬪序列（終戰時に於ける）

緬甸方面軍司令官　陸軍大將　木村兵太郎

第二十八軍

第二十八軍司令官陸軍中將　櫻井省三

第五十四師團

軍直屬部隊

獨立速射砲第十四大隊

野戰高射砲第七十一大隊

第四野戰輸送司令部

獨立自動車第五十五大隊

獨立自動車第二百三十六中隊

特設自動車第十中隊

RG'-0008
0335
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立輜重兵第五十一大隊
架橋材料第三十六中隊
渡河材料第十中隊
第二十野戰道路隊（終戰時泰國に在り）
第百一野戰道路隊
第百十八兵站病院
患者輸送第七十小隊
患者輸送第七十一小隊

第三十三軍

第三十三軍司令官陸軍中將　本多政材

第十八師團

軍直屬部隊

獨立速射砲第十三大隊
野戰重砲兵第二十一大隊
野戰機關砲第四十三中隊
第二通信隊本部
獨立有線第十八中隊
獨立有線第百九中隊
獨立有線第百十中隊
獨立無線第百二小隊
獨立無線第百三小隊
獨立無線第百四小隊
獨立自動車第六十一大隊
獨立自動車第二百三十七中隊（終戰時泰國に在り）
特設自動車第九中隊
特設自動車第二十一中隊（終戰時泰國に在り）
獨立輜重兵第二聯隊

RG'-0008
0336
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

架橋材料第二十二中隊
第九師團架橋材料第一中隊（終戰時泰國に在り）
渡河材料第十三中隊
第百二野戰道路隊（終戰時泰國に在り）
第百二十一兵站病院（終戰時泰國に在り）
患者輸送第六十小隊

緬甸方面軍隷下部隊

第三十一師團
第三十三師團（終戰時泰國に在り）
第四十九師團
第五十三師團
獨立混成第二十四旅團
獨立混成第七十二旅團
獨立混成第百五旅團

方面軍直屬部隊

獨立機關銃第一中隊
獨立機關銃第二中隊
獨立機關銃第三中隊
獨立速射砲第三十八中隊
獨立速射砲第三十九中隊
獨立速射砲第四十中隊（終戰時泰國に在り）
蘭貢高射砲隊司令部
野戰高射砲第三十三大隊（終戰時一部二中泰國に在り）
野戰高射砲第三十五大隊
野戰高射砲第五十一大隊（終戰時一部三中泰國に在り）
野戰高射砲第七十大隊
野戰機關砲第八十中隊

RG'-0008
0337
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立野戰高射砲第五十八中隊
獨立野戰高射砲第五十九中隊
獨立野戰高射砲第六十中隊
獨立野戰高射砲第六十一中隊
野戰重砲兵第五聯隊
野戰重砲兵第九大隊
野戰重砲兵第百十一大隊
戰車第十四聯隊
獨立工兵第四聯隊
獨立工兵第二十聯隊
獨立工兵第六十七大隊
獨立工兵第六中隊
獨立工兵第七中隊
獨立工兵第八中隊

獨立工兵第九中隊
獨立工兵第十中隊
第五遊擊隊本部
遊擊第十五中隊
遊擊第十六中隊
遊擊第十七中隊
電信第十九聯隊
緬甸方面軍通信隊本部
獨立有線第九十二中隊
獨立有線第九十三中隊
獨立有線第九十四中隊
獨立無線第七十一小隊
獨立無線第七十二小隊
獨立無線第七十三小隊

RG'-0008
0338
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

獨立無線第八十三小隊
獨立無線第八十四小隊
獨立無線第八十五小隊
緬甸方面軍兵站監部
第四十二兵站地區隊本部（終戰時泰國に在り）
第四十二兵站地區警備隊（同　右）
兵站勤務第四十二中隊（終戰時泰國に在り）
第五十三兵站地區隊本部（同　右）
兵站勤務第五十三中隊（同　右）
第七十三兵站地區隊本部
兵站勤務第七十三中隊
第九十兵站地區隊本部
第九十一兵站地區隊本部
第二十三兵站自動車隊本部

獨立自動車第二百十一中隊
獨立自動車第三百三十三中隊
特設自動車第十二中隊
特設自動車第十九中隊（終戰時泰國に在り）
特設自動車第二十中隊
第二野戰輸送司令部（終戰時泰國に在り）
獨立自動車第二百二十六中隊
獨立自動車第二百五十六中隊
獨立自動車第三百三十四中隊（終戰時泰國に在り）
獨立自動車第三百三十五中隊（同　右）
特設自動車第一中隊（終戰時佛印に在り）
特設自動車第二中隊
特設自動車第三中隊
特設自動車第四中隊（終戰時泰國に在り）

RG'-0008
0339
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

特設自動車第五中隊
特設自動車第六中隊
特設自動車第七中隊
特設自動車第八中隊（終戰時泰國に在り）
第五野戰輸送司令部
獨立自動車第六十大隊
獨立自動車第百一大隊
獨立自動車第二百六十一中隊
獨立自動車第二百七十三中隊（終戰時泰國に在り）
獨立輜重兵第三聯隊
第三特設水路輸送隊
獨立自動車第四十五大隊
架橋材料第二十一中隊
渡河材料第十四中隊（終戰時泰國に在り）

渡河材料第十五中隊
緬甸方面軍憲兵隊
第三十三野戰道路隊
第十五野戰勤務隊本部
陸上勤務第七十九中隊
特設陸上勤務第三十中隊
特設陸上勤務第三十一中隊
特設陸上勤務第三十二中隊
水上勤務第三十三中隊（終戰時泰國に在り）
特設水上勤務第二十一中隊
建築勤務第五十三中隊
特設建築勤務第二十八中隊
第三十野戰勤務隊本部
陸上勤務第九十三中隊

RG'-0008
0340
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

陸上勤務第九十四中隊
陸上勤務第百中隊（終戰時馬來に在り）
陸上勤務第百二中隊
特設陸上勤務第八中隊
特設陸上勤務第九中隊
水上勤務第三十八中隊
特設水上勤務第二十二中隊
建築勤務第百一中隊
陸上勤務第百三十一中隊
陸上勤務第百三十二中隊
陸上勤務第百三十三中隊
陸上勤務第百三十四中隊
陸上勤務第百三十五中隊
陸上勤務第百三十六中隊

第十五野戰郵便隊
第十八野戰郵便隊（終戰時佛印に在り）
第七十八兵站病院（終戰時比島に在り）
第八十六兵站病院（同　右）
第百六兵站病院
第百七兵站病院
患者輸送第六十二小隊
患者輸送第六十八小隊
患者輸送第六十九小隊
患者輸送第七十二小隊（終戰時泰國に在り）
患者輸送第八十四小隊
患者輸送第九十一小隊
患者輸送第九十五小隊
第二十二野戰防疫給水部

RG'-0008
0341
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

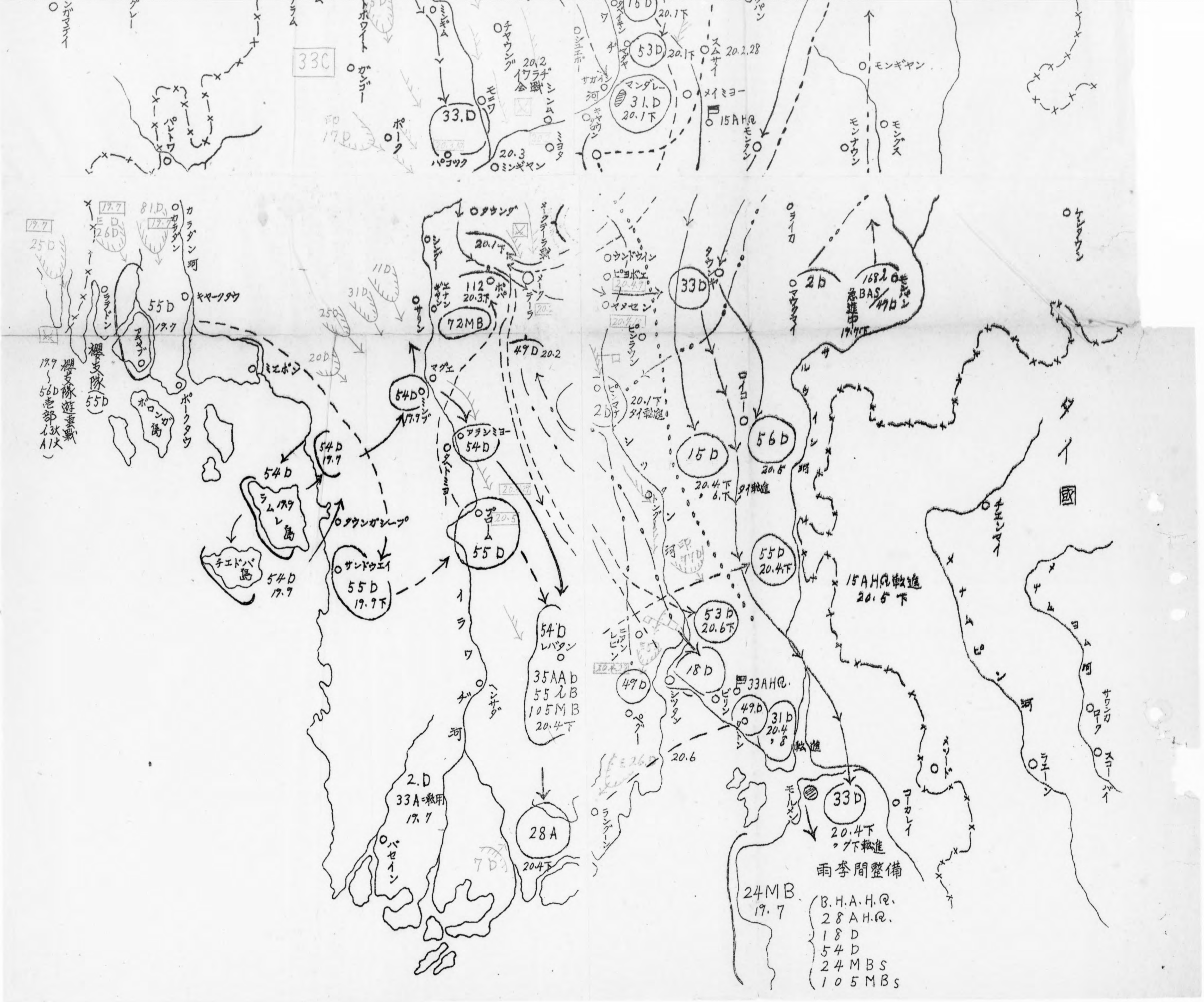
第二十六野戰防疫給水部（終戰時泰國に在り）
第二十九野戰防疫給水部
第十三兵站病馬廠
第二十一兵站病馬廠
第十七軍馬防疫廠
緬甸方面軍野戰兵器廠
緬甸方面軍野戰自動車廠
緬甸方面軍野戰貨物廠

RG'-0008

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

緬甸戰史要圖（2）

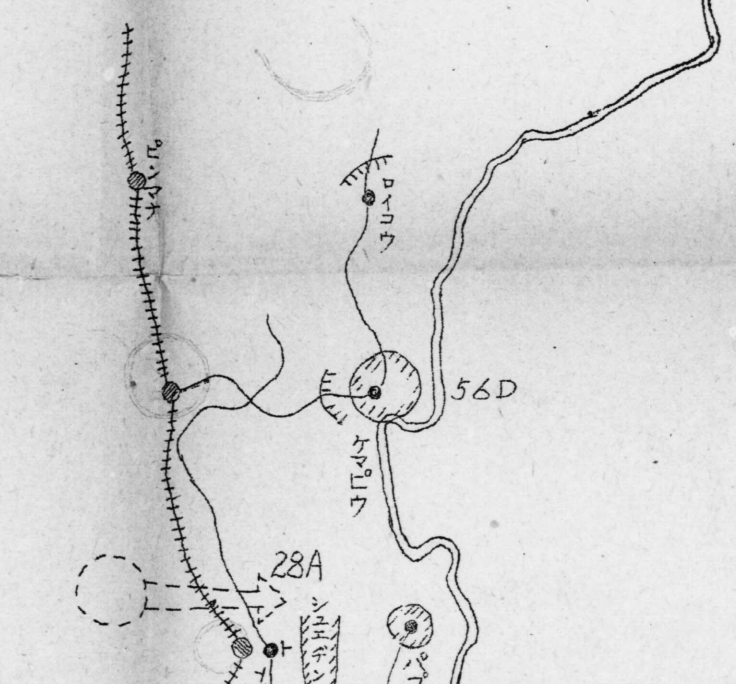
RG'-0008
0343
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan



外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
RG'-0008
0344
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

別紙第二

緬甸方面軍兵力配置要図
（終戦時ニ於ケル）



外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan
RG'-0008
0345

三、終戰後に於ける日本軍隊の狀況

1、終戰後緬甸方面軍は八月二十七日蘭貢に於ける停戰暫定協定に基き左の如く集結すると共に九月十日調印の降服文書に基き九月下旬より十月上旬に亘る間武裝を解除し軍需品の引渡を完了せり

記

緬甸方面軍直轄部隊　ムドン附近
第二十八軍諸部隊　パウン及マルタバン附近
第三十三軍諸部隊　チヤイト及タトン附近
獨立混成第二十四旅團　タンビザヤ附近
獨立混成第七十二旅團　カロート附近

2、昭和二十年末よりタイ國への部隊の移動を禁止せられ逐次部隊はシツタン河以西の地區に移動せしめられ英軍の勞務に服する爲指揮系統を考慮することなく各地に派遣せらる
然れども英軍勞務の爲にも日本軍復員業務實施の爲にも日本軍司

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

令部をして指揮せしむるを適當とし昭和二十年四月九日英緬軍行政命令第一號に基き左記の如き指揮組織をとらしめらる

記

緬甸方面軍行政司令部　司令官　木村大將

緬甸方面軍司令部の人員を以て編成しラングーンに位置し日本軍の行政指揮に任ず

南地區司令部　司令官　本多中將

第三十三軍司令部の人員を以て編成しラングーン（アロン）に位置しピンマナ以南シッタン河以西の日本軍諸部隊の行政指揮に任ず

北地區司令部　司令官　櫻井中將

第二十八軍司令部の人員を以て編成しマダレーに位置しピンマナ以北の日本軍諸部隊の行政指揮に任ず

テナセリウム地區司令部司令官　鹽川少將

緬甸方面軍司令部の人員を以て編成しシッタン河以東の日本軍諸部隊の行政指揮に任ず

3、昭和二十一年四月九日緬甸方面軍司令官木村大將は聯合軍の指示に依り東京に招致せられ第三十三軍司令官本多中將緬甸方面軍司令官代理となる。

4、昭和二十一年六月下旬より七月下旬に亘る間に左記の如く第一次復員輸送を實施せられ殘余の三万四千名は別紙（第三の）配置に就き昭和二十一年十月以降英軍の勞務に服せり

記

ラングーン地區より　一万二千名
テナセリウム地區より　二万五千名

別に朝鮮人及台灣人は全員ラングーンより復員せり

5、昭和二十二年三月より第二次復員輸送開始せられ殘余三万四千名は八月二十六日特異なる者（後述）を除き復員を完了せり

RG'-0008
0347
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

6、終戰より復員に至る間の日本軍將兵に課せられたる勞務は兵器彈藥整理、鐵道及道路の補修、荷役、建築等の作業より其の他家屋の淸掃及家僕的作業に至る迄各般に亘り此の間粗惡なる待遇給養の下過酷なる勞務を課せられ爲に一、七〇〇名の死歿者を出せり
又此の間メイミョウ事件及アロン事件等對英印軍將兵紛爭に依り死傷者を出せり

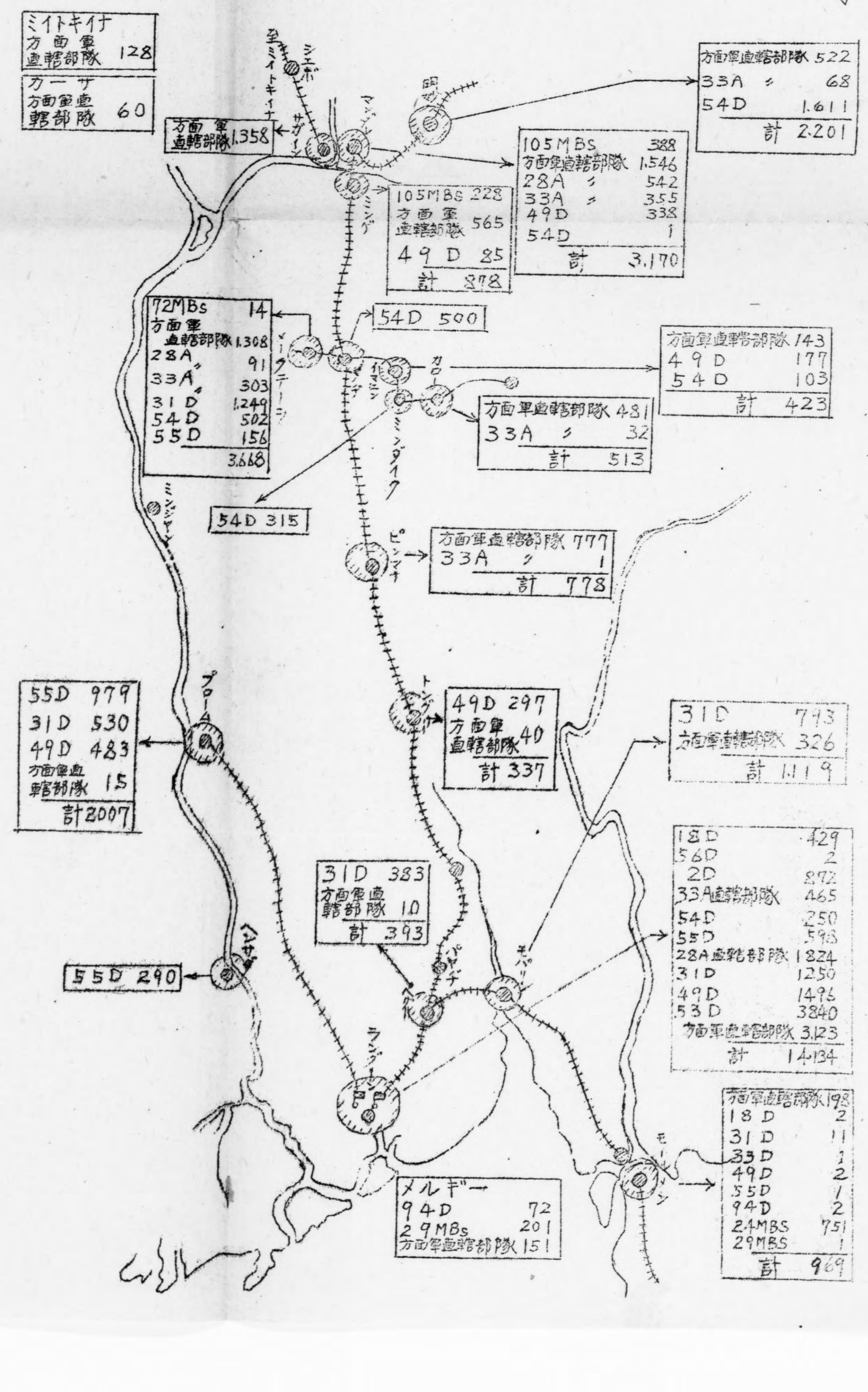
RG'-0008

0348

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

別紙

緬甸方面軍兵力配置要図
(昭和二十一年十月ニ於ケル)



別紙第三

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan
RG'-0008
0349

ホ 有期刑者中一部は馬來地區に移され他の一部は釋放せられ現にラングーン中央刑務所に残留中のもの、氏名別紙第四の如し

2 離隊逃亡者

イ 終戰前より逐次作戰を嫌忌し離隊する者續出し終戰後は希望を失ひ虚脱狀態より離隊逃亡する者多發しその數約三〇〇名に達せり

然れども極力歸投工作に努め大部は夫々復員し殘餘は昭和二十四年八月十五日を以て現地復員せる者として外務省に移管せり

（一一三二名）

ロ 右の外潜在逃亡者若干あり、ビルマ警察報に依れば三〇〇〇名ありとのことなる斯る尨大なる數には達せざるべくその大部は現地共産軍及カレン獨立軍に投じ北ビルマ及シャン高原地區に在るもの、如し

3 狀況不明者

後述す

RG'-0008

0350

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

四、日本陸軍将兵の残留状況に就いて

イ、戰爭犯罪關係者

イ、ビルマに於ける戰爭犯罪の搜査は昭和二十年武裝解除後より開始せられ昭和二十一年四月よりラングーンに於て裁判を開始し更に昭和二十二年六月よりメイミョウに法廷を開設し同年末を以て完了せり

ロ、昭和二十二年七月緬甸方面軍復員時に於ける殘置人員次の如し

戰爭犯罪容疑者　一八六名

辯護團及管理要員　四六名

ニ、昭和二十二年十二月戰爭犯罪の裁判終了し無罪の者及辯護團及管理要員全部復員し受刑者のみラングーン刑務所に殘留せり

受刑者　七四名

昇天者　二六名

有期刑者　四八〃

別紙第四

法務殘留者名簿

刑期	氏名	留守宅住所	留守擔當者 續柄	留守擔當者 氏名
十年 四年	大野一美	岐阜縣山縣郡春近村溝口	妻	大野迪子
五年	黒木重德	宮崎縣北諸縣郡庄内町[redacted]	父	黒木重盛
十五年	久米眞多男	神奈川縣横須賀市逗子町六四七	妻	久米幸子
十年	新田水一	廣島縣豊田郡幸崎町久津	父	新田島吉
五年	鹽田利弘	鹿兒島縣日置郡上伊集院村[redacted]	姉	森山照子
五年	辻内孝重	大阪市生野區舎利寺町[redacted]	母	辻内トキエ
十二年	小川角次	埼玉縣入間郡越生町上野四六五	母	小川ハマ
十年	下司久夫	福岡縣早良郡田隈村免二一一五	母	下司トキ
五年	金子甚作	山形縣東置賜郡小松町中小松字驛町二四六五	母	金子サク

RG'-0008

0351

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

十年	日高實雄	鹿兒島縣熊毛郡南種子村西之	兄	日高正雄
七年 十二年	野本金二	埼玉縣北埼玉郡三俣村上三俣七六三	父	野本倹爾
十年	馬場滿	長崎市上戸町九〇	父	馬場種市
十五年	田原親夫	宮崎縣都城市上川東	妻	田原文代
十五年	鱗谷喜一	愛知縣寶飯郡西浦町字龍田	義兄	山本松次郎
十年	高倉家春	群馬縣多野郡美原村字譲原	父	高倉傳平
十五年	檜垣信幸	熊本市中　井町六六　馬渡方	母	檜垣フジエ
十五年	柴田義夫	京都府宇治郡東宇治町字大地藏小字札ノ辻一二	妻	柴田マサ子
七年	林善人	長野縣岡谷市新屋敷區	妻	林みすゞ
六年 十年	遠山良作	岐阜縣惠那郡長島町字久須見	父	遠山寅吉
十年	當房齋	鹿兒島縣川邊郡萬世町小松原	父	當房菊一

十年	月館幸吉	東京都世田ヶ谷區太子堂町三四四 菅野ぬゑ方	妻	月館敏子
十年	大久保要三	長野縣更級郡篠ノ井町七七三	兄	大久保竹美
十四年	大槻七郎	福島市置賜町二二	妻	大槻きぬ子
十年	武井省三	長野縣小縣郡長村横澤	母	武井トシ
十二年	金澤誠中	千葉縣君津郡中川村横田二五六九	父	金澤金藏
三年 七年	中島時喜	佐賀縣藤津郡濱町北船津四五三	兄	中島初次郎
十五年	熊谷八郎	長野縣下伊那郡平岡村	妻	熊谷つゆ子
八年	橋本定	廣島縣安佐郡安村大字上安	父	橋本一吾
十年	早坂太	宮城縣加美郡色麻村黒澤字七利壇二〇	父	早坂繁藏
十二年	粕谷武世	京都市左京區[redacted]	妻	粕谷節子
八年	田島勝平	埼玉縣大里郡吉岡村大字萬吉	母	田島まつ

RG'-0008
0352
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

七年	宮本隆次	兵庫縣加東郡大部村王子	妻	宮本たま子
十二年	高橋東吉	北海道北見市七條通西六丁目 大久保喜重方	妻	高橋モト子
十年	坂巻三郎	東京都三鷹町井口三六六 勝呂博典方	妻	坂巻ふみ子
五年	小林文吉	群馬縣前橋市宗甫分三六	父	小林藤太郎

五、墓地に關する事項

緬甸方面軍の陣歿將兵はその數十八万名（作戰兵力三十万にしてその六〇%）に及び其の墓地は作戦が廣範に亘りたると部隊の移動頻繁たりしとに依り緬甸全域に散在しあり且終戰後その墓標は現地人に撤去せられ又は英軍より撤收を命ぜられたる為ラングーン郊外タマへ日本人墓地に英軍の許可を得て「大東亞戰爭陣歿英靈之碑」を建立し緬甸政府に其の管理を依賴せり

六、狀況不明者に就いて

緬甸方面の作戰の廣範圍に亘りたると戰斗の樣相の複雜多岐なりし為狀況不明者の數は實に三万名に達したるもその大部は終戰後在緬二年間に於ける各部隊の調査等に依り死亡と認定し現在尚狀況不明者として殘れるもの五四名にしてその狀況別紙の如し

別紙第五

状況不明者連名簿

本籍 生年月日 [illegible]

一連番号	通称號固有名	官等	氏名	生年月日	本籍地	留守担当者 住所	続柄	留守担当者 氏名	状況の概要	処決	未帰還届有無	摘要
1		軍	池田慶助		樺太[redacted]	北海道千歳郡[redacted]	長男	池田高雄	ビルマ方面へ		有	
2			佐藤瀧一	大2.10.10	岩手縣[redacted]	北海道空知郡[redacted]	姉	伊藤やす	19.11中旬ビルマより飛行便の音信あり		有	
3	緬方軍憲兵隊 緬憲	雇員	矢作徹		茨城縣[redacted]	同上	父	矢作安太郎	20.4中旬ビルマ国プローム縣プローム附近にて生死不明		有	
4	渡材 13中 昆48 16	上	田口際四郎	大6.9.12	栃木縣[redacted]	同上	兄	田口光三郎	20.7.21ビルマ国カママン第百七兵站病院入院其の後不明		有	
5			池田專之助	大11.9.10	山形縣[redacted]	同上	父	池田專治郎	ビルマ方面へ		有	

RG'-0008

0354

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

一連番號	通稱號固有名	官等	氏名	生年月日	本籍地	留守擔当者 住所	留守擔当者 續柄	留守擔当者 氏名	状況の概要	処決	未歸還有無	摘要
6	15軍司 林1116	軍属	川端福一		東京都[redacted]	福島縣南会津郡[redacted]	妻	川端好子	20.3.20ビルマ国ペグー北方生死不明		有	
7		二	本山藤吉	大8.1.1	東京都[redacted]	福岡縣三井郡[redacted]	弟	本山健三	18.9頃ビルマ方面へ爾後六ケ月位して「元氣」との音信あり		有	
8	獨自236中 策3005	長	中西鎮雄	明42.6.18	東京都[redacted]	[redacted]同下	父	中西秀三郎	20.7.23ビルマ国マンダレー幹線カラクイン北方七粁にて生死不明20.7.26ビルマラングーン兵站病院入院其の後不明		有	
9	13病馬廠 森3246	獣見士	今仁伊孝	明37.11.27	東京都[redacted]	広島縣安藝郡[redacted]	母	今仁李能子	20.2下旬ビルマ国ラングーンにて生死不明		有	
10	獨混72旅司 貫徹1222	主少尉	飯島為衙	大7.3.31	山梨縣[redacted]	同上	父	飯島寛	20.7頃ビルマ国タトン附近にて生死不明		有	
11		二	吉田龜太郎	大5.5.15	神奈川縣[redacted]	青森縣南津軽郡[redacted]	妻	吉田キク	19.9.2ビルマ方面へ		有	
12	14野輸司 策12235	予上	柳澤進午	大7.9.22	長野縣[redacted]	同上	父	柳澤大助	20.4.26ビルマ国プローム縣パトンにて現地應召20.6.9ビルマ国オンゴン東方五粁附近に於て生死不明		有	
13		現歩長	酒井忠司	大6.2.12	愛知縣[redacted]	同上	姉	酒井美代子	19.6頃ビルマ方面へ		有	
14	獨輜51大 策37551	予主伍	神田順一	明43.10.30	岐阜縣[redacted]	東京都世田ケ谷區[redacted]	妻	神田美智	20.6.25ビルマ国ミヨラテゴンに於て南方四粁生死不明		有	
15	歩4連 勇1301	予歩上	戸ノ部好造	大4.1.21	新潟縣[redacted]	同上	母	戸ノ部サノ	ビルマ国部隊追及後消息不明		有	

RG'-0008

0355

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

連番号	16	17	18	19	20
通称號 固有名	2野道 隊 昆6613	歩67連 祭7371	緬方電 野自廠 森10 358	歩13 8連 烈10 353	歩15 3連 狼18 703
官等	予長	一補歩一	二国輜一	補歩一	歩一
氏名 生年月日	金井元久 明40.2.15	石田実 大7.4.7	荒木健治 明44.3.12	平田與作	西尾隆雄 大12.10.30
本籍地	富山縣[redacted]	福井縣[redacted]	京都府[redacted]	奈良縣[redacted]	兵庫縣[redacted]
留守担当者 住所	同上	大阪府大阪市[redacted]	京都市伏見區[redacted]	同上	同上
留守担当者 續柄	父	兄	妻	父	父
留守担当者 氏名	金井圓次郎	石田藏	荒木カズヱ	平田與一	西尾善七
状況の概要	19.6.21ビルマ国フミネ第百七兵站病院入院其の後不明	20.5ビルマ国ケマピュにて生死不明	21.5ビルマ国トングー英軍病院入院後不明	20.5.10ビルマ国タウンジーにて生死不明	ビルマ 生死不明
処決状況					
未歸還有無	有	有	有	有	有
摘要					

連番号	21	22	23	24	25
通称號 固有名	54師 衛生隊 兵10122	野高7 1大 策8057		歩14 3連 壮8416	54師 司 兵10108
官等	予 歩長	二国 一		歩 長	予醫大尉
氏名 生年月日	渡邊谷太郎 大元.2.3	小山長藏	岡田信治	林克治 大4.8.27	藤原正 明42.2.2
本籍地	岡山縣[redacted]	山口縣[redacted]	山口縣[redacted]	鳥取縣[redacted]	岡山縣[redacted]
留守担当者 住所	同上	福岡縣八幡市[redacted]	宇部市[redacted]	同上	東京都世田ケ谷區[redacted]
留守担当者 續柄	父	妻	兄	妻	妻
留守担当者 氏名	渡邊和七郎	小山ミキノ	岡田邦一	林靜子	藤原英子
状況の概要	20.7.24ビルマ国ピユー東方十五粁にて生死不明	20.8.4ビルマ国シッタン平地に於て遭合軍に抑留	ビルマ方面へ	20.5中旬ビルマ国ペグ山系に於て生死不明	20.7.26ビルマ国ピユーチヨウに於て生死不明
処決状況					
未歸還有無	有	有	有	有	有
摘要					

RG'-0008

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

一連番號	通稱號固有名	官等	氏名	生年月日	本籍地	留守擔當者 住所	留守擔當者 續柄	留守擔當者 氏名	狀況の概要	處決	未歸還者有無	摘要
26		曹	遠藤清		三重縣[redacted]	三重縣北牟婁郡[redacted]	母	遠藤きちゑ	ビルマ 生死不明		有	
27	緬方面軍司令部 緬	大尉	富田家睦	大4.3.22	広島縣[redacted]	大分縣佐伯市[redacted]	内縁の妻	清家ユサ子	18年ビルマ国ペグーに在り		有	
28	歩11 2連 壯8415	補一	久本博		香川縣[redacted]	同上	母	久本サカエ	20.7.27ビルマ国シッタン平地に於て生死不明		有	
29	工55連 壯8421	二補上一	加藤勇	明43.2.6	香川縣[redacted]	高松市[redacted]	兄	加藤清	ビルマ 生死不詳		有	
30	歩11 2連 壯8421	現歩一	久米勝治	大9.3.7	徳島縣[redacted]	徳島市[redacted]	兄	久米壽一	ビルマ国アキャブ方面 生死不明		有	

一連番號	通稱號固有名	官等	氏名	生年月日	本籍地	留守擔當者 住所	留守擔當者 續柄	留守擔當者 氏名	狀況の概要	處決	未歸還者有無	摘要
31		軍属	倉橋敏雄	明44.3.10	愛媛県[redacted]	同上	父	倉橋總助	18.10.4博多空港よりビルマに向ひ出發其の後不明		有	
32	輜55連 壯8423	現兵技軍	朝比奈清	大8.6.2	高知県[redacted]	[redacted] 同上	叔母	朝比奈久尾	20.4ビルマ國ヘンサダ 生死不明		有	
33	南方軍通3 森15918	豫通伍	岩尾貞義	大6.6.2	熊本県[redacted]	同上	父	岩尾百松	20.9.5ビルマ國チユンイワ離隊後生死不明		有	
34	歩46連 龍6735	長	秋島重一		長崎県[redacted]	同上	母	秋島くめ	20.8ビルマ國タトンに於て生死不明		有	
35	山砲18連 菊8908	豫上	辻保		長崎県[redacted]	同上	祖父	辻奥次郎	19.12.31ビルマ國「モンミツト」県モンミツト市外「タンガインン」に於て離隊其の後不明		有	

RG'-0008

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

一連番號	通稱號固有名	官等	氏名	生年月日	本籍地	留守擔當者 住所	續柄	氏名	状況の概要	處決	未歸還有無	摘要
36	歩55連 菊8902	上 現	松瀬知弘	大10.8.4	長崎県[redacted]	佐世保市[redacted]	母	松瀬タケ	21.3 ビルマ國ラングーン第百六兵站病院入院其の後不明		有	
37	野電5連 森6771	軍憲野現	神崎定治	大10.6.29	長崎県[redacted]	諫早市[redacted]	父	神崎惣四郎	20.3.16 ビルマ國エンジヨン入院後不明		有	
38	歩55連 紫8902	一歩 現	椿崎彌四雄	大9.10.25	長崎県[redacted]	同上	父	椿崎安五郎	19.1 ビルマ國モールに於て入院後不明		有	
39	同	上歩 現	田中彌太男		長崎県[redacted]	[redacted]同上	兄	田中繁一	20.4.30 ビルマ國トングーに於て生死不明		有	
40	歩56連 菊8903	長	増永岬	大2.1.7	福岡県[redacted]	福岡県三[redacted]郡[redacted]	父	増永健藏	19.6.24 ビルマ國カマインより後送中不明となる		有	

一連番號	通稱號固有名	官等	氏名	生年月日	本籍地	留守擔當者 住所	續柄	氏名	状況の概要	處決	未歸還有無	摘要
41	歩124連 烈8906	長	香月利	明45.8.16	福岡県[redacted]	同上	妻	香月時枝	20.3.23 ビルマ國タダウ野戰病院に於て正木樹英軍醫の附添をして居た其の後不明		有	
42	輜56連 龍6742	上	後藤砂夫	大3.3.25	福岡県[redacted]	小倉市[redacted]	妻	小泉ハルヨ	20.8.25 ビルマ國ラングーン緬甸方面軍刑務所に入所其の後不明		有	
43	歩146連 龍6755	長	保坂美義		福岡県[redacted]	同上	兄	保坂千敏	19.8 シンガポールに上陸しついでビルマに向ふ爾後不明		有	
44	歩114連 菊8905	二歩 補一	林勝		福岡県[redacted]	遠賀郡[redacted]	長男	林勝美	ビルマに於て生死不明		有	
45	7狼 14 11 野9 28 病師	上	杉原光雄	大9.7.2	福岡県[redacted]	同上	父	杉原光治	20.4.28 ビルマ國モールメン到着後生死不明		有	

RG'-0008

0358

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

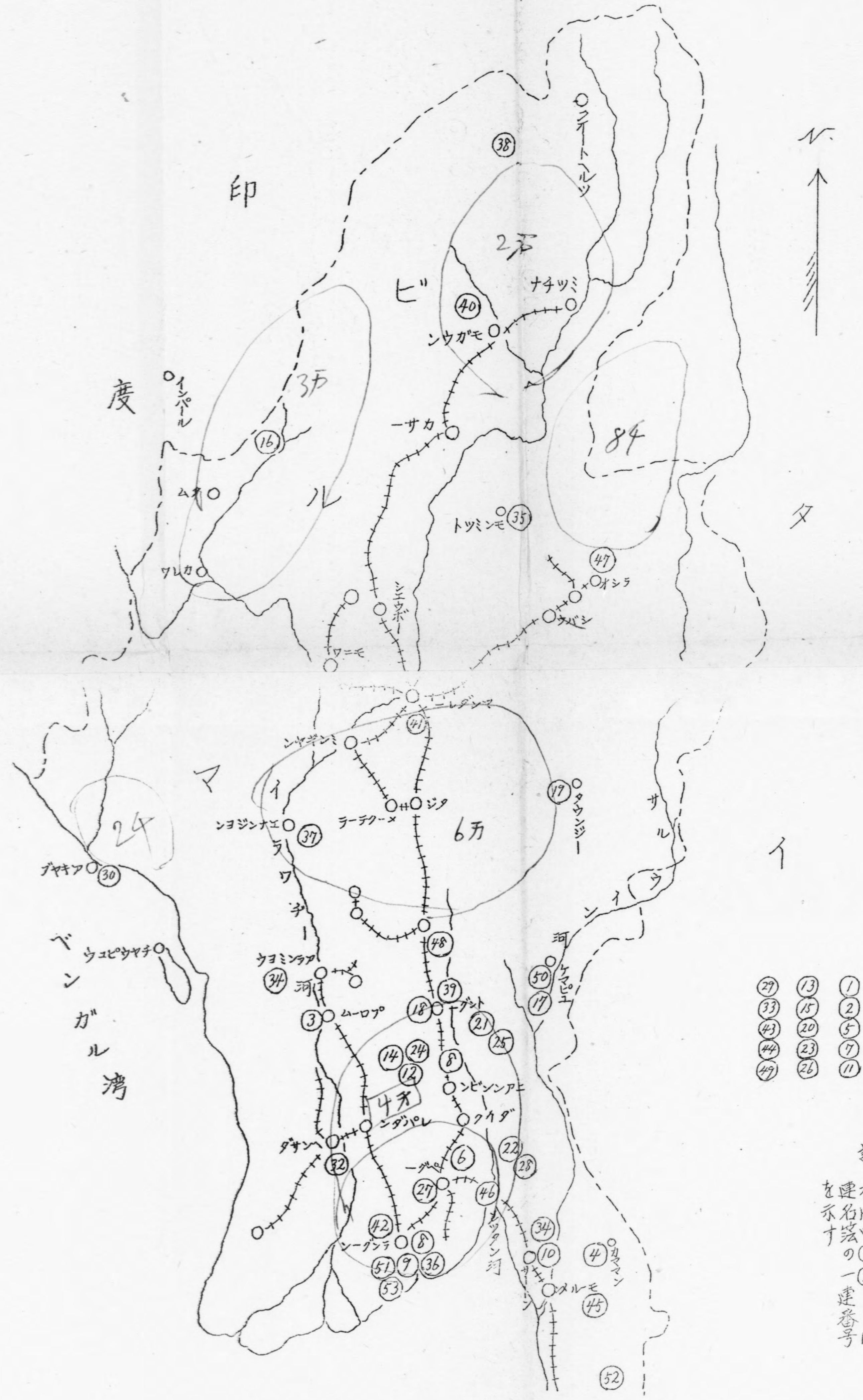
一連番號	通稱號 固有名等	官等	氏名 生年月日	本籍地	留守擔當者 住所	續柄	氏名	状況の概要	處決	未歸還有無	摘要
46	蘭高司 森20102	補高射上	山本巖 大8.3.9	福岡県[redacted]	福岡市[redacted]	弟	山本義實	20.8.15ビルマ國チャイト入院其の後不明		有	
47	歩112連 壮8415	歩長	加藤茂美 明42.12.18	福岡県[redacted]	同上	母	加藤ハヤ	19.11初旬ビルマ國ラシオに於て生死不明		有	
48	歩56連 菊8903	補歩一	新田貢 大11.10.1	福岡県[redacted]	田川市[redacted]	父	新田勇	20.4.20ビルマ國メークテーラ南方キャウセタク湖附近に於て生死不明		有	
49			越智太持 大7.3.15	福岡県[redacted]	八幡市[redacted]	實姉	本山サト	ビルマ方面へ		有	
50	工56連 龍6740	豫工伍	日高勇 大8.8.15	福岡県[redacted]	八幡市[redacted]	母方	日高シモ	20.8.19ビルマ國イワテにて生死不明		有	
51	鐵5連 森5804		高畑慶長	香川県[redacted]	同上	遠縁	山口アグリ	三井物産ラングーン支所員にて現地應召以後不明三井物産社員名簿にあり		有	
52	南方軍3連 定91195		田中實	岐阜県[redacted]	同上	兄	田中治三郎	20.1マレーより北上ビルマ國境附近にて死亡せるの模様なるも現在その確認の段階に至らず		有	
53	3船司ビルマ支部 2944	上	淺坂國次 大12.3.10	北海道[redacted]	釧路市[redacted]	父	淺坂長治	22.5ビルマラングーンで健在の他部隊同郷人22.5.28に復員した後の船で帰る旨留守宅へ傳言を依頼した		有	
54	船工1連 1750	上	東濟 大12.1.13	和歌山県[redacted]	同上	父	東平次郎	19.11.10.5 4師第4野病入院其の後不明		有	

RG'-0008

0359

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

状況不明者分布状況要圖



別紙第五属表

生死不明となった場所不明の者				
(1)	(2)	(5)	(7)	(11)
(13)	(15)	(20)	(23)	(26)
(29)	(33)	(43)	(44)	(49)

註
本図中(1)(2)……は連名簿の一連番号を示す

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan
RG'-0008

要改訂

附表第三

派遣団行動日程表

日程	要調査地点	宿泊地	主要行事	移動機関	摘要
第一日 ←(三週)→ 第二一日		船舶	一、東京――ラングン 二、海上追悼行事（南支那海、阿波丸関係）	船舶	
〃二二〃 〃二三〃 〃二四〃	ラングン付近	ラングン	一、ビルマ大使館および先発員との打合。二、関係方面に対する挨拶 三、ラングン周辺の収骨。	ジープ	
〃二五〃		マンダレー	移動	飛行機	治安上許せば列車による。
〃二六〃 〃二七〃 〃二八〃 〃二九〃	マンダレー、メークテーラ、ミンヂャン付近	マンダレー	一、マンダレー、メイクテーラ、ミンヂャン付近の収骨。二、マンダレーに於て追悼行事。	ジープ	
〃三〇〃		ラシオ	移動	列車	
〃三一〃 〃三二〃	ラシオ付近	ラシオ	一、ラシオ付近の収骨。二、追悼行事。	ジープ	
〃三三〃		カタ	移動	列車	
〃三四〃 〃三五〃	カタ付近	カタ	一、カタ付近の収骨。二、追悼行事。	ジープ	
〃三六〃		バーモ	移動	船舶	
〃三七〃 〃三八〃	バーモ付近	バーモ	一、バーモ付近の収骨。二、追悼行事。	ジープ	
〃三九〃		ミッチナ	移動	ジープ	
〃四〇〃 〃四一〃	ミッチナ付近	ミッチナ	一、ミッチナ付近の収骨 二、追悼行事。	ジープ	
〃四二〃 〃四三〃		マンダレー カレワ	移動	船舶 ジープ	
〃四四〃 〃四五〃	カレワ付近	カレワ	一、カレハ付近の収骨。二、追悼行事。	ジープ	
〃四六〃		ホマリン	移動	船舶	
〃四七〃 〃四八〃	ホマリン付近	ホマリン	一、ホマリン付近の収骨。二、追悼行事。	ジープ	
〃四九〃			移動	ジープ	
〃五〇〃 〃五一〃 〃五二〃	インパール付近	インパール	一、インパール付近の収骨 二、追悼行事。	ジープ	
〃五三〃 〃五四〃		マンダレー グローム	移動	ジープ	
〃五五〃 〃五六〃	グローム付近	グローム	一、グローム付近の収骨 二、追悼行事。	ジープ	
〃五七〃 〃五八〃		ラングーン アキャブ	移動	船舶 ジープ	
〃五九〃 〃六〇〃	アキャブ付近	アキャブ	一、アキャブ付近の収骨 二、追悼行事		
〃六一〃			移動	船舶	
〃六二〃 〃六三〃	ラングン	ラングン	一、追悼行事。二、関係方面に対する挨拶、三、整理		
六四			一、ラングン……東京		

RG'-0008

0361

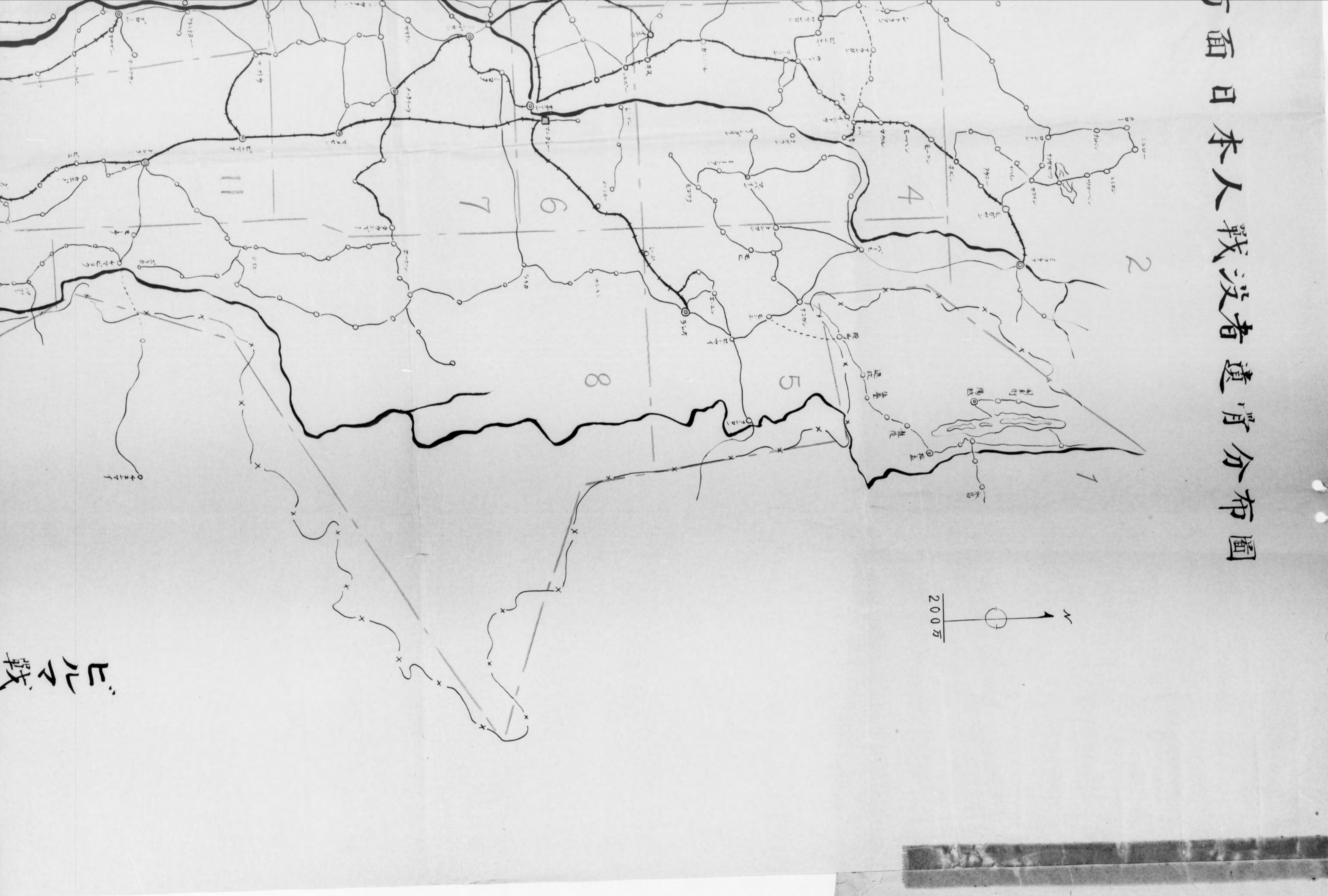
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

日程	地域	宿泊	行事	交通
〃二七〃 〃二八〃 〃二九〃	マンダレー メークテーラ ミンヂャン 付近	マンダレー	一、マンダレー、メイクテーラ、ミンヂャン付近の収骨。 二、マンダレーに於て追悼行事。	ジープ
〃三〇〃		ラッオ	移動	列車
〃三一〃 〃三二〃	ラシオ付近	ラシオ	一、ラシオ付近の収骨。 二、追悼行事。	ジープ
〃三三〃		カタ	移動	列車
〃三四〃 〃三五〃	カタ付近	カタ	一、カタ付近の収骨。 二、追悼行事。	ジープ
〃三六〃		バーモ	移動	船舶
〃三七〃 〃三八〃	バーモ付近	バーモ	一、バーモ付近の収骨。 二、追悼行事。	ジープ
〃三九〃		ミッチナ	移動	ジープ
〃四〇〃 〃四一〃	ミッチナ付近	ミッチナ。	一、ミッチナ付近の収骨。 二、追悼行事。	ジープ
〃四二〃 〃四三〃		マンダレー カレワ	移動	船舶 ジープ
〃四四〃 〃四五〃	カレワ付近	カレワ	一、カレハ付近の収骨。 二、追悼行事。	ジープ
〃四六〃		ホマリン	移動	船舶
〃四七〃 〃四八〃	ホマリン付近	ホマリン	一、ホマリン付近の収骨。 二、追悼行事。	ジープ
〃四九〃			移動	ジープ
〃五〇〃 〃五一〃 〃五二〃	インパール付近	インパール	一、インパール付近の収骨 二、追悼行事、	ジープ
〃五三〃 〃五四〃	[illegible]	マンダレー ブローム	移動	ジープ
〃五五〃 〃五六〃	ブローム付近	ブローム	一、ブローム付近の収骨 二、追悼行事、	ジープ
〃五七〃 〃五八〃		ラングーン アキャブ	移動	ジープ 船舶
〃五九〃 〃六〇〃	アキャブ付近	アキャブ	一、アキャブ付近の収骨 二、追悼行事	
〃六一〃			移動	船舶
〃六二〃 六三	ラングーン	ラングーン	一、追悼行事 二、関係方面に対する挨拶 三、整理	
六四〜八四（三週）		船舶	一、ラングーン→東京 二、整理	船舶

備考

一、先発員の報告により一部変更を予定する。

RG'-0008
0362
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

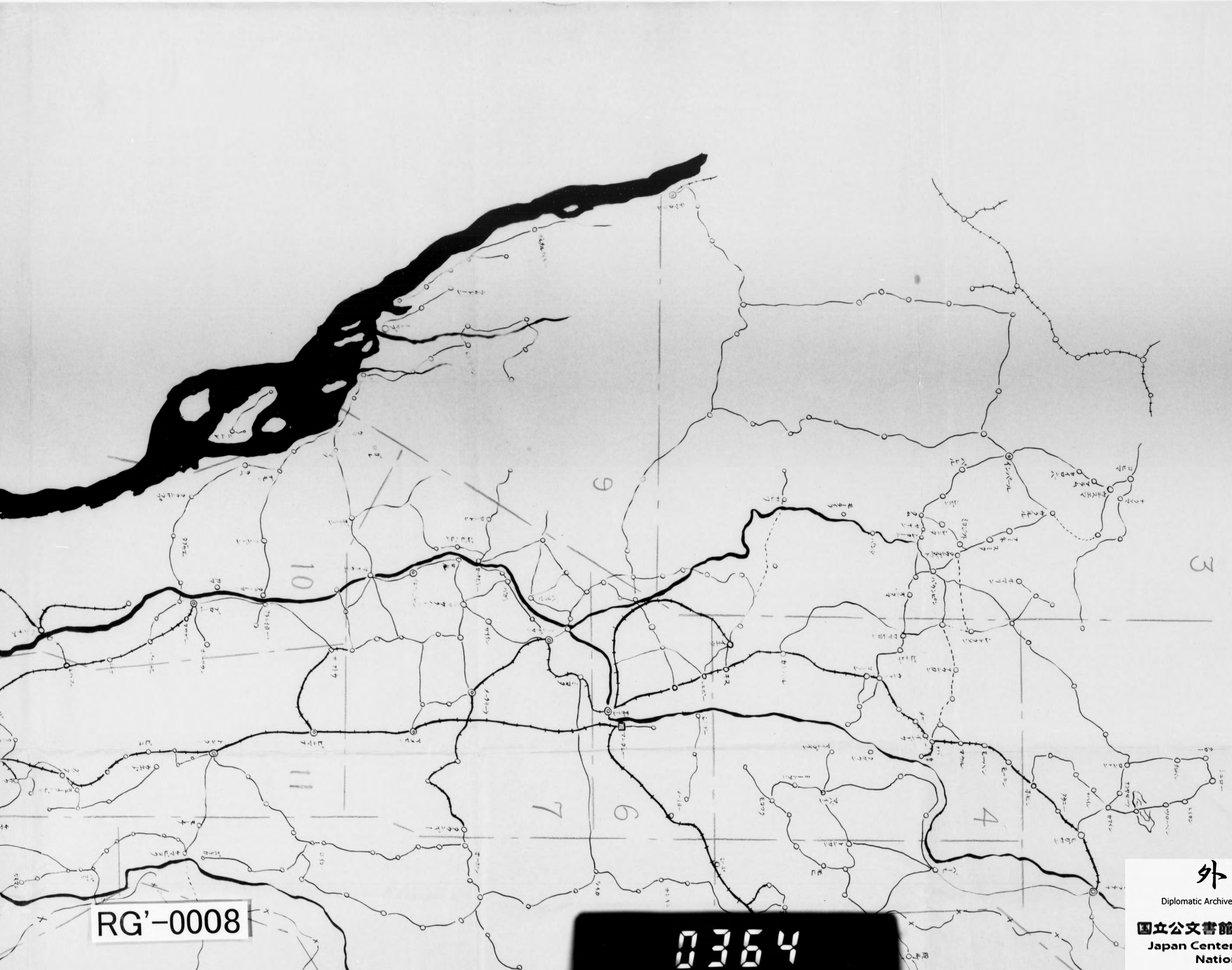


参考

RG'-0008

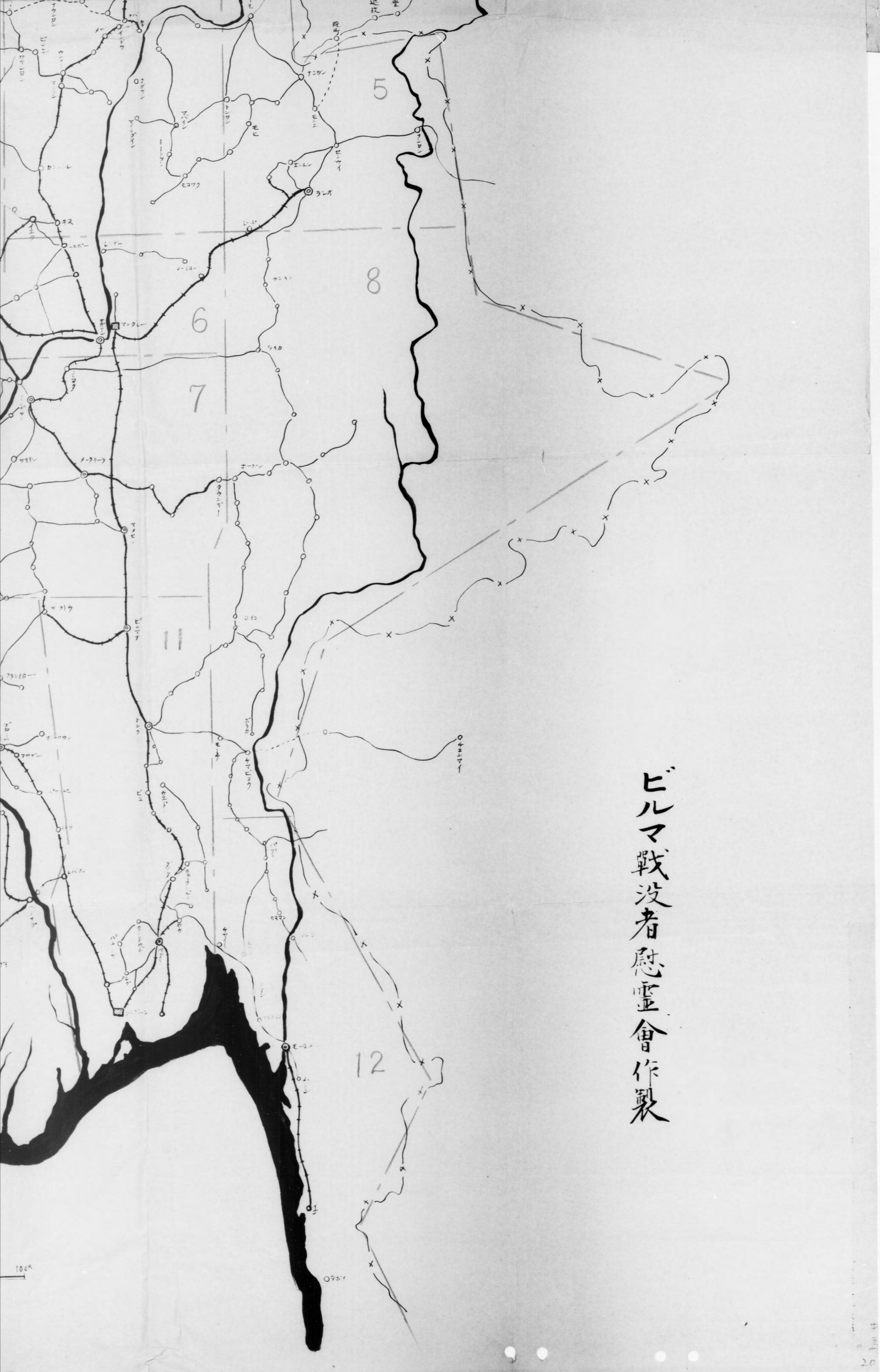
0363

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan



ビルマ方面日本人

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan
RG'-0008
0364



ビルマ戦没者慰霊會作製

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan
0365
RG'-0008

RG'-0008

0366

外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan